



小田原の駅前を再生する市民連絡会議ニュース

No.1 2005年6月25日

小田原の駅前を再生する市民連絡会議 臨時事務局 250-0045 小田原市城山4-1-11
T:23-7871 F:23-7872 Email:smat2@nifty.com URL:http://www.art-vivre.com/

ラスカ開業 駅前街頭署名行動 (6月25日)

昨日の25日に駅ビルが完成し「ラスカ」が開業しました。この人出を祝い、連絡会議提唱の「駅前街頭署名行動」を実施しました。当初新たに使用開始されたペデストリアンデッキで展開する予定でしたが、意外に人出がなく急遽1階のメインエスカレーター下の広場で、午後1時15分頃から訴えを開始しました。

運動員8人でしたが、炎暑の中がんばりました。原田敏司市議も参加され、ハンドマイクで署名への協力を力強く訴えられました。

市民の皆さんの多くが、この事業計画を

全くご存じないことに、改めて気づきました。全市的な情報の浸透を早急に図らないと、市民の大半が気づかぬうちに、このビルができてしまったなどということになりかねません。

小田原市を、市民自治の確立した町にするため、素早く行動を開始しましょう。

次の街頭行動、もっと多くの皆さんとともに、特に女性の方たちの参加を得て実施したいと考えています。

～小田原もっと美しく～

～小田原もっと元気に～

～小田原もっと小田原らしく～

第7回連絡会議 (6月25日)

街頭行動に引き続き、連絡会議を開きました。

◎街頭行動の反省 市民への周知がかなり遅れている。「建設止めたんでしょ」という声すら聞かれた。まず周知させること、早急な対応をする。

◎署名スタートの状況 用紙が十分に呼びかけ人に配布されているか、とりまとめ人に確認する。集会での呼びかけ賛同者へも配布手配する。第1次集約までに大きな実績が必要。ネットワークを至急点検し強化

する。

◎市議会対応 陳情は27日に出される。閉会中審査にしよう。

◎国と県への対応 県へは県議などのラインで、国へは地元代議士などを通して補助金支出の不当性などを陳情する。

◎村井合同設計への対応 建築家の倫理規定委員会に調査を依頼するなど研究。「建築家協会職責委員会」への提訴も視野に入れる。

◎市民周知対策 「タウンニュース」7月

2日号に中面全1ページカラーによる意見
広告を出す。費用は市民カンパ、呼びかけ
人カンパ、参加団体分担などでまかなう。

◎市行政への対応 監査請求で攻める。請

求事項、具体策など早急に立案提案。

◎次回連絡会議 7月3日(日)午後7時、
場所 城山4丁目 カフェマ・メゾン

小田原市議会6月定例会 一般質問始まる(6月23,24日 最終日28日)

6月9日に開会した市議会の一般質問で、
檜山智子議員、安野裕子議員が鋭く厳しく
「再開発」を追求しました。市長以下市の
執行部の回答は、お粗末で投げやりなもの。
全く回答にならない愚答を繰り返す始末は、
市民説明会の再現かと思わせる光景でした。
回答し得ないいい加減、無責任な人任せ事
業であることが暴露されました。最終日の
28日の3番目には関野隆司議員が

1 お城通り地区再開発事業について小田
原市の対応を問う

(1) 市民説明会や市民からの声をどの様
に受けとめているのか。

またそれをどの様に生かそうとして
いるのか

(2) タワービルは必要か。計画の見直し
が必要ではないのか

(3) 市民合意による駅前のまちづくりが
必要ではないのか

として質問追求します。

みなさんの傍聴をお願いします。最近
は傍聴人がとても多くなりました。

署名用紙の増刷ができました 受け取りにおいでください

署名用紙は、小田原駅東口前のSKYLARKビル2階にある「鈴広お客様ラウンジ」に置かせて
いただいています。必要分をお受け取りください。(0465-22-2333 店長露木さん)

このニュースは、随時発行します。転送や印刷・配布は自由です。皆様がお気づきになっ
た情報、ニュースなどをお寄せ下さい。費用と手間を省くため、メールを最大限活用したい
と思っていますので、ニュースを読んでほしい方のアドレスを事務局にお知らせ下さい。

暑さも厳しくなって参りました。ご健康にくれぐれもお気をつけ下さい。(事務局 松本茂)

**タウンニュース 7月2日号に意見広告が出ます。
このカラー紙面を有効に活用して署名集めお願いします。**

第1次署名集約集会

**7月17日(日)午後6時より
旧丸井ビル4階 しみん学習フロア**